

公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団
令和3年度 定時評議員会議事録

- 1 日 時 令和3年6月28日(月) 午後2時～午後3時
- 2 場 所 名古屋ガーデンパレス 3階 錦の間(名古屋市中区錦3-11-13)
- 3 評議員現在数及び定足数
現在数 13名、定足数7名
- 4 出席評議員 10名
大島正通、伊藤 直、大曾根康治、笹野大栄、加藤千美、近藤英子、
山田雄司、平野悦子、松元貴子、寺部 暁
- 5 評議員以外の出席者
(理事長) 伊藤 聡
(常務理事) 伊藤靖祐、武田洋子
(監 事) 河本 力、安井信久
(事務局員) 田中義広、大塚あゆみ
- 6 議 案
 - (1) 第1号議案 令和2年度公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団事業報告について
 - (2) 第2号議案 令和2年度公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団収支決算について
 - (3) 第3号議案 公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団運営規則の一部改正について
 - (4) 第4号議案 理事及び監事の選任について
- 7 議事の進行等
 - (1) 議長の選出
定款第24条の規定に基づき、出席評議員の互選により山田雄司評議員が議長となり議事を進行した。
 - (2) 定足数の確認
午後2時現在、評議員現在数 13名中 10名の出席があり、定款第25条の規定に基づき、評議員会は有効に成立していることを確認した。
 - (3) 議事録署名人の選出
議長は定款第26条第2項の規定に基づき、拍手により、大島正通評議員及び笹野大栄評議員を議事録署名人として選出した。
- 8 議事の経過の概要及び議案別議決の結果
 - (1) 第1号議案 令和2年度公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団事業報告について、
議長の指示により事務局長が資料に基づき説明した。
意見、質問を求めたところ、新規加入者の増加について質問があり、事務局が、新規加盟園の増加及び幼稚園から認定こども園への移行の増加により、近年コンスタントに新規加入者が増加していると説明した。
 - (2) 第2号議案 令和2年度公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団収支決算について、
議長の指示により事務局長が資料に基づき説明した。
議長は監査結果の報告を河本監事に求めた。
(河本監事)
令和3年6月3日に、理事長、遠山会計監査人、事務局同席のもと、安井監事とともに監査を行った結果、理事の職務執行は適正であったことを報告する。
意見、質問を求めたが発言はなく、議長が挙手により賛否を求めたところ全会一致で原案の

とおり承認された。

- (3) 第3号議案 公益財団法人愛知県私立幼稚園退職基金財団運営規則の一部改正について、議長の指示により、事務局長が資料に基づき説明した。

議長が、意見、質問を求めたが、質疑はなく、挙手により賛否を求めたところ全会一致で原案のとおり承認された。

- (4) 第4号議案 理事及び監事の選任について

定款第 32 条第 1 項の規定に基づき、理事及び監事は本日の定時評議員会の終結をもって任期満了となるため改選を行う。議長が資料に基づき説明した。

意見、質問を求めたが発言はなく、議長が第4号議案について定款第 25 条第3項の規定に基づき、各候補者ごとに賛否を求めたところ、全会一致で原案のとおり承認された。

理事

伊藤 聡、伊藤靖祐、加藤義彦、鈴木孝昌、武田洋子、長岡龍男、新美 理、
松岡明範、水越省三、山崎拓史、吉田宏道

監事

伊藤秀樹、安井信久

9 その他

理事長が、運用資産の現状について、短期保有財産が 33 億円余り積み上がっており、運用先を低金利の続く国内市場で探すことは難しいと説明し、米ドル建債券の購入枠を 10%から引き上げることについて、意見を求めた。

資産運用規定上の適否について質問があり、理事長が、資産運用規定の改正が必要であり、改正するのであれば、理事会、評議員会で決議することになると回答した。

それに対し、1年後の評議員会まで待てるのか。臨時評議員会を開催するべきではないかとの意見があり、理事長が、運用先の選択が難しいのは事実だが、安全性も重要で、1年後の改正を念頭に検討を進めたいので、本日は評議員会の意見を伺いたいと回答した。

理事長の意向を受け、議長が、米ドル建債券の購入枠拡大について、賛成意見の者の挙手を求めたところ、全員が挙手したため、この件について検討を進めることとした。

以上の議事を明確にするため、事務局員大塚あゆみがこの議事録を作成し、議長及び議事録署名人が、次に、記名押印する。

令和3年6月 28 日

議 長 山田 雄司 印

議事録署名人 大島 正通 印

議事録署名人 笹野 大栄 印